

# 興道会だより

米沢仏教興道会 〒992-0042 米沢市塩井町塩野1476-1 興道北部保育園内 TEL0238-40-0044 FAX0238-37-8399 発行責任者/楠 裕行



雪の中から顔を出したフキノトウ。春はもうすぐそこです

昨年六月、会の役員改選に伴い新たに会長に就任させていただきました。よろしくお願ひ申し上げます。

本会は、明治二十年四月二十日に結成されました。当時の僧侶が時代の流れの中でお寺が危機的状況にあることを感じ、宗派を超えて結成されたものです。宗派を超えての組織は全国的にも数少なく、それだけお寺の危機感が強かったものと思われまます。

時は流れて今年で百三十六年目を迎えました。人や組織が頑張ろうとするエネルギーは危機感が強いほど高まります。結成当初とは状況はガラリと変わりましたが、時代は変わっても常にお寺はこれで良いのだろうかとの自己反省と危機感を保ちつつ進みたいと思います。米沢仏教興道会の先人が興された道を大切にしていきたいと思ひます。

興道会会員諸老師、施設関係者、興道会を支えていただいております多くの皆様、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



米沢仏教興道会  
第十五代会長  
楠 裕行

## 会長就任挨拶

### 令和4年度 事業計画(案)

- 4月上旬 **正会員会総会**
- 4月中旬 **報恩供養会**
- 6月 **第97回 花まつり**
- 6月 **正会員会**
- 10月 **戦没者慰霊祭**
- 12月中旬 **歳末助け合い募金(ののさま募金)**

### 令和5年

- 1月下旬 **正会員会・新年会**
- 3月1日 **機関紙「興道会だより」第21号発刊**

※その他、花まつり関係事業、幹事会、編集委員会等を開催。  
 ※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって行事の縮小・延期または中止となる可能性があります。

### 令和3年度 事業報告

- とき/令和3年7月 **正会員会総会** ..... 役員改選に係わる総会(書面議決)
- とき/令和3年12月13日(月) **歳末助け合い募金(ののさま募金)** ..... 於:本部研修室
- とき/令和4年3月1日(火) **機関誌「興道会だより」第20号発刊**

※新型コロナウイルス感染予防に伴い、年度内の行事を一部縮小。  
 ※その他、幹事会等を開催。

人気漫画「鬼滅の刃」を読んで、人も鬼も隔たりなく、描かれていることに「鬼滅の刃」の深い世界を感じました。

作者は、すべての登場人物の人物像を丁寧に設定することで、その登場人物に作者の感情が備わり、人も鬼もそれまでの生きざまをもひっくり返して、それぞれの「生死」を真っ正面から描きだしているのだと感じています。

私がこの漫画に引き込まれたのは、おそらく「せつない(つらくやるせない)」から。そして、何があっても、どんなに苦しくても生き抜こうとする人間の力に圧倒されたからです。「鬼滅の刃」の主人公(竈門炭治郎)は、生きとし生けるものすべてに敬意と慈しみを持ち、辛く、悲しい時でも一所懸命に生き抜こうとしています。それは、作者が「鬼滅の刃」の主人公を通して、「生きるとは何か」を私たちに訴えているのではないのでしょうか。

さて、新型コロナウイルスが全国に蔓延し、三年が経とうとしています。コロナ禍の不安によるものなのか分かりませんが、以前よりましてSNSや有名人に対する誹謗中傷が多くなったように感じられます。そのせいで、多くの人が苦しみ、悩み、自ら命を絶ってしまった人もいます。本当に悲しいことです。私たちは、関わり合いの中でしか生きることができません。あらゆるものは関係性の中であって初めて存在し得るから、自分が自分を支えているのではなく、関係の中で初めて存在します。

人との関わり合いが制限される時こそ、相手を敬うことを忘れず、心の鬼を滅し、どんな時でも一所(今、その時を)、懸命に生きていこうと感じた今日この頃でした。



米沢仏教興道会 禅透院 聖山宗徳





# ご存じですか?“お寺の掲示板”の世界



さて、皆さまは「お寺の掲示板」をご覧になったことはありませんか？  
主にお寺の門前などにある、ガラスケースになったお寺の掲示板で、お経からとった文言や高僧の教え、仏教の教えを端的に表す言葉などが掲示されています。お寺によっては仏教語だけでなく、古来から伝わることわざや名言、著名人の言葉などを掲げたり、最近では映画やドラマ、マンガの台詞から取った言葉を紹介している場合もあります。

これは「掲示伝道（けいじでんどう）」とも言われ、通勤や通学、散歩の途中など、ふとした時間や身近な風景を通して、仏教の教えに触れて欲しいと、日本全国のお寺で行われているものです。

月ごとに変わる言葉から、日常にある仏教のエッセンスに気づいたり、今を生きるための智慧を受け取ったり、ほっこりあたたかな気持ちになったりと、ファンだという人も意外に多いそうです。中には気になった言葉の写真をSNSに投稿する人も表れ、二〇一八年からは、全国からそれらの言葉を集め、表彰する「輝け！お寺の掲示板大賞」（公財）仏教伝道協会主催」という試みも始められました。ちよつと受賞作を紹介すると「仏の顔は 何度でも」（広島市・超覚寺）、「お前も死ぬぞ 釈尊」（岐阜県・願蓮寺）、「本当のものがわからないと 本当でないものを本当にする」（福岡県・万福寺）、「猫をしかる前に 魚をおくな」（静岡県・鳳林寺）など、どれもはっとさせられたり、しみじみうなづいたり、くすりとさせられる中にも、滋味深い言葉、気づきに満ちた言葉が並んでいます。

仏教の教え、仏さまの慈悲の心は、実は日常の様々な場所に息づいています。近所のお寺の掲示板をチェックして、ぜひ身近な気づきを得たり、心安らかに過ごすきっかけにしたいだければ幸いです。

合掌（文・写真 西蓮寺 伊藤竜信）

### ◎書籍紹介

江田智昭『お寺の掲示板』新潮社2019年刊 1100円（税込）  
「輝け！お寺の掲示板大賞」に寄せられた言葉やその解説が所収された写真集。現在、第2巻まで発刊中。



## 社会福祉協議会へ 寄付のご報告

令和三年十二月十三日、興道会本部にてのさま募金の受付が行われ、社会福祉法人米沢仏教興道会所属の各保育所・老人ホームの利用者様や職員の皆様、米沢仏教興道会々員御寺院様より浄財をお預かり致しました。同年十二月二十一日、米沢仏教興道会 楠会長より、米沢市社会福祉協議会を通じ「歳末助け合い募金」として寄付させていただきました。

また、米沢仏教興道青年会では例年、米沢イオンにて歳末助け合い募金活動を行っておりましたが、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み募金活動は中止とさせていただきます。本年度は、米沢仏教興道青年会の予算の中から社会福祉協議会へ寄付させていただきました事を併せてご報告いたします。

なお、寄付金は、米沢市内の福祉施設や団体支援を必要とする世帯へ届けられます。ご協力いただき誠にありがとうございました。

## 米沢仏教興道会募金 金額 一五三、七三五円



## 米沢仏教興道青年会募金 金額 三〇、〇〇〇円



## 戦没者慰霊祭



戦没者慰霊祭は戦没者の追悼と先祖への感謝を行い、平和に対して再認識する法要として毎年正会員寺院様ご参集にてとり行われておりました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、導師 楠会長のもと代表者数名にてご供養させていただきました。来年度以降、開催の際には是非ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

合掌